

0421

達乙第五十一號  
陸軍臨時建築署條例別冊之通相定候條此旨相達候  
事

明治十五年七月廿六日

陸軍卿 大山 巖

陸軍省

0422

陸軍臨時建築署條例

陸軍臨時建築署條例

第一條 凡ソ陸軍所屬ノ要塞城堡海岸礮臺其他屯  
 營官舎倉庫等ノ建築修繕ハ砲兵方面ニ屬スル外  
 ハ一般工兵方面ノ任スル所ナリト雖モ時宜ニ依  
 リ特ニ擔任ノ員ヲ置キ便宜ノ地ニ署ヲ開キ工業  
 一切ノ事ヲ區處セシム之レヲ陸軍臨時建築署ト  
 云フ但シ其工事落成ニ至レハ其職ヲ解キ署ヲ閉  
 ルモノトス

第二條 臨時建築署ノ官僚ハ<sup>大尉</sup>兵科大中佐ノ内一  
 名ヲ以テ其長トシ同少佐ヲ以テ次長トシ同尉官  
 若干名ヲ以テ工役長トシ下ニ上等監護以下若干

名ヲ附屬シ又計官ヲ置キ會計一切ノ事務ヲ司ラ  
 シム但シ工役長以下ハ工業ノ大小土地ノ廣狹ニ  
 應シ其員ヲ定ムルモノトス

第三條 臨時建築署ノ官僚ハ工兵科將校下士ヲ以  
 テ之レニ充ツルモノト雖モ時宜ニ依リ他兵科將  
 校下士倘クハ當分軍屬ヲ混用スルコトアリ

第四條 長ハ直チニ陸軍卿ニ隸シ其命セラレタル  
 工業一般ノ事ヲ統理監督シ部下官僚ノ勤惰能否  
 ナ甄別シテ陸軍一般ノ定規ニ由リ之ヲ措置ス

第五條 次長ハ長ヲ補助シテ工作事務及ヒ庶務ヲ  
 監督調理シ長不在ノ時ハ其署事ヲ代理ス

第六條 工役長ハ長ノ指揮ニ從ヒ一工場若クハ數

工場ノ工作事務ヲ專任シ諸工ノ課程ヲ立テ其進  
 否能否ヲ實查シ且金額ノ度支牒簿ノ記注ヲ監查  
 シ工場ノ百事ニ就キ差誤失錯遺漏ナカラシメサ  
 ルノ責任ヲ保擔シ又監護以下ノ勤惰ヲ監視ス  
 第七條 計官ハ長ノ指揮ニ從ヒ建築費ノ出納計算  
 ヲ司リ署中ノ用度ヲ辨シ書記ノ勤惰ヲ監督ス  
 第八條 上等監護ハ其職務ヲ分テ二トス一ハ工作  
 事務ヲ專任シ一ハ署中ノ庶務ニ任ス  
 第九條 其工作事務ニ從事スルモノハ長ノ指揮ニ  
 從ヒ工役長ニ屬シ建築ニ於ケル材料ノ品位及ヒ  
 其數量ノ查實費用ノ算定牒簿ノ記注仕法案計費  
 案圖按等ノ調製ヲ分掌ス就中工業經費ニ係ル牒

簿ノ記注ハ一々精査号數ヲ付シ日後錯雜ノ患ナ  
キヲ要ス

第十條 其署中ノ庶務ニ任スル者ハ長及ヒ次長ノ  
指揮ニ從ヒ諸牒簿ノ記注文書ノ淨書ヲ主管シ又  
材料買取ニ方テ其品質良否數量ノ監別査定及ヒ  
其貯藏ノ方法費用ノ算定ヲ司ル

第十一條 監護ハ工役長ノ指揮ニ從ヒ一部ノ工作  
ヲ專任シ仕法圖按ニ依テ毫モ錯誤遺漏ナカラシ  
ムヲ專要トシ工人役夫ヲ指揮シ且材料物品ノ適  
否ヲ實査シ工業日記ノ記注ヲ司ル但シ時宜ニ依  
リ曹長ヲ以テ此職ヲ奉セシムルコトアリ

第十二條 軍曹伍長ハ上等監護或ハ監護ノ指揮ニ

從ヒ工人役夫ノ督責ニ從事スヘシ

第十三條 凡ソ建築ハ陸軍卿ヨリ下ス處ノ圖式法  
按ニ則リ敢テ取捨斟酌スルヲ許サス而シテ起工  
ノ順序仕法ノ利害得失ヲ熟考シ次長ト商議シ着  
手ノ緒ニ就カシムヘシ然レモ若シ其圖式法按ニ  
就キ署長意見アレハ陸軍卿ニ上申スルヲ得

第十四條 建築ヲ起スニ方テ其方法或ハ其材料物  
品ノ買取及土地ノ撰定其他諸般ノ事項ヲ舉ケテ  
陸軍卿ヨリ殊ニ下間ニ附セラレタルモハ署長ハ  
次長又ハ工役長以下ニ指揮シ仕法按圖按經費按  
或ハ土地ノ景況書及ヒ其圖面地價等ニ至ル迄詳  
細ニ製調シ上申スルヲ例トス

第十五條 凡ソ材料ノ買取貯藏及ヒ土地物品ノ授受等總テ會計經理ニ係ル者ハ悉ク陸軍卿ノ指令ヲ受クヘシ

第十六條 材料物品ノ買取輸送等ノ事アレハ工役長若クハ上等監護ヲシテ品質ノ良否運輸ノ辨否ヲ實查セシムルノ後之ヲ定ムヘシ

第十七條 工役長上等監護ハ常ニ職工ノ賃金及ヒ材料物品ノ原價表ヲ製置シ時々價格ノ昂低ヲ採聽更正シ工事ノ參考ニ備フルヲ法トス

第十八條 建築地方數里ニ涉リ一時數所ニ起工スルキハ派出所ヲ各所ニ置キ次長或ハ工役長ヲシテ其事業ヲ分擔セシムルハ署長ノ權内ニ屬スト



雖此一應其事由ヲ陸軍卿ニ經伺シ而シテ設置施行スルモノトス

第十九條 凡ソ工役長ハ一役ノ竣ル迄日ニ場ニ臨  
 ミ次長ハ工業ノ形況ニ因テ一週ニ數次回長ハ一  
 週ニ二三次回必ス工場ヲ巡視シ作業ノ精疎及ヒ  
 諸帳簿材料物品其他會計上等百般ノ物件一々之  
 レヲ點檢實査シ法ニ違ヒ又ハ不良ノ事ハ速ニ矯  
 正セシムヘシ

但シ往復五里以上ノ工場巡視ハ此限ニ非ス

第二十條 署長各所へ巡回出張セントスルハ陸  
 軍武官命課規則ニ從フヲ例トス但シ屬僚ヲ派出  
 セシムルモ亦然リ

第廿一條 建築工事査實ノ爲メ陸軍卿ヨリ又ハ兵  
略ニ關涉スル工事ハ參謀本部長ヨリ臨時委員ヲ  
派出サル、時ハ署長之レニ對シ精細ニ應答シ長  
不在ノ時ハ次長工役長ヨリ代答スヘシ

第廿二條 地方官ノ處分ニ關係スル事項ハ長ノ名  
ヲ以テ該地方廳ヘ協議照會スルヲ例トス

第廿三條 陸軍卿ヨリ工兵隊ヲ以テ工業ニ從事セ  
シムヘキ命アルキハ署長該隊長ト協議ヲ遂ケ事  
ニ就カシムヘシ又署長ヨリ之レヲ請求セント欲  
スルキハ其事由ヲ陸軍卿ヘ上申シ許可ノ後之レ  
ヲ施行スルモノトス

第廿四條 一建築ヲ着手スルニ當テハ該工事ノ大

小輕重ヲ考察シ工兵隊ノ工卒ヲ仕役シ或ハ其備  
金ヲ定メテ市井ヨリ常雇ノ工人ヲ募リ又ハ請負  
人ニ委シテ受負ハシムルコトアルヘシ

第廿五條 凡ソ工作ノ一部市井ノ受負人ニ委シテ  
受負ハシムルルルハ詳細緻密ノ圖面及ヒ仕法書ヲ  
示シ且始業ヨリ竣工ニ至ル期限ヲ堅定シ入札ヲ  
ナサシムヘシ

第廿六條 入札ノ法期日ニ至リ入札悉ク終ルノ後  
長ノ面前ニ於テ上等監護之ヲ開緘スヘシ

但シ材料物品ヲ買取スルニ至テハ入札ノ際見  
本ヲ點檢スルヲ例トス

第廿七條 入札ヲ開緘シタルル其價格ノ至廉ナル

者ヨリ撰ヒ甲乙丙ノ三等ヲ取り其中ニ就キ最モ廉價ナル者ヨリ撰フヲ法トス然レトモ第一至廉ナル者不相當ノ價直ナリト認ムルキハ一層精密ナル調査ヲ遂ケ終始完成ノ認メナキキハ第三等迄順次改撰シ猶不充分ナルキハ更ニ再入札ノ手續ヲナスヘシ

第廿八條 其入札歸決スルキハ其居住地ノ區戸長ニ照會シテ其業産貧富ヲ糺シ受負ノ事業完成スヘキヲ確認スルキハ更メテ入費明細帳ヲ作ラシメ材料ノ等質尺寸員數并ニ工銀ヲ記上シ且之レニ對シ後日煩擾ノ事項發出セサル嚴密ノ約定書ヲ作ラシムヘシ但シ約定書ハ證券界紙ヲ用ユ

ルモノトス

第廿九條 受負人ノ業産確實ナルモノト雖モ尙ホ

保証人一名若クハ二名以上ヲ立テシムヘシ

第三十條 約定既ニ定マルキハ上等監護ヨリ直チ

ニ計官ニ移牒シ其受負ノ事業及ヒ其人名等ヲ報  
スヘシ

第卅一條 受負人既ニ工事ニ就キ或ハ材料買取物  
品運輸等ノ爲メ費用ノ内渡ヲ請フ作ハ工業ノ進  
歩又ハ材料物品取輸ノ程度ニ由リ其代價ト賃金  
トヲ較量シ之レヲ二分シ其一分ヲ支下スルヲ法  
トス而シテ其價金ヲ定ムルハ監護ノ工業日記ト約  
定書ニ屬スル入費明細帖トヲ對較シテ之レヲ定

ムヘシ

第卅二條 凡ソ價金ヲ支下スルニハ受負人ヨリ入  
 費明細帖ヲ出サシメ上等監護之レヲ受領シ直チ  
 ニ監護ニ送致ス監護ハ工業日記中第卅一條ノ法  
 ニ相當スルヤ否ヲ調査精算シ差異ナキニ於テハ  
 捺印シテ之レヲ上等監護ニ回送ス上等監護ハ之  
 レヲ點檢捺印シ工役長ノ檢印ヲ受ケ牒簿ニ記注  
 スルノ後之レヲ本署ノ上等監護ニ送達スヘシ

第卅三條 本署ノ上等監護ハ之レヲ受領シ其金額  
 事項及ヒ姓名ヲ帳簿ニ詳記シ署長及ヒ次長ノ檢  
 印ヲ受ケ之レヲ計官ニ送致スヘシ

第卅四條 計官交付ヲ得レハ會計ノ法規ニ由リ金

圓ヲ支下スヘシ

第卅五條 建築地方數里ニ隔離シ各派出所ニ於テ  
價金ヲ支下スルヲ以テ便宜ナリトスルキハ其方  
法等詳細陸軍卿へ經伺ノ後施行スルヲ法トス

第卅六條 凡ソ不用ニ屬スル材料物品ノ處分ヲ要  
スルキハ品名并ニ其事由ヲ精細ニ列記シ陸軍卿  
へ上申許可ヲ得ルノ後之レヲ處置スルヲ法トス  
但シ其賣却見積代價金拾圓以下ニシテ朽廢物鉋  
屑等ノ如キハ處分濟ニ陸軍卿へ具申スヘシ

第卅七條 凡ソ報告ハ一般ノ成規ニ據リ陸軍卿ニ  
呈シ要塞礮臺其他兵略ニ關スル工事ニ於テハ參  
謀本部へモ報告スヘシ

第卅八條 工業進歩ノ報告ハ月報トシ該一ヶ月使

フ處ノ職工役夫及ヒ輸入物品ノ員數等ヨリ即下  
何レノ作業マテ竣ルヲ詳記シ且一ヶ月間支出ス  
ル處ノ金額ヲモ廉々列記スヘシ

但シ前月ノ月報ハ翌月五日ヲ限り必ス該署ヲ  
發スルモノトス

第卅九條 年報ハ前年ノ七月一日ヨリ翌年六月三  
十日ヲ一期トシ第卅八條ニ示ス事項ヲ細記シ七  
月三十一日ヲ限り該署ヲ發スルヲ例トス

第四十條 建築落成シ其所司ニ交付スルハ陸軍  
卿へ上申許可ヲ得ルノ後雙方ヨリ若干ノ委員ヲ  
立テ圖并ニ記録ニ照査シテ之レヲ交付シ再ヒ陸



軍卿へ申報スヘシ

第四十一條 一工作落成ニ至ルキハ精細ナル竣工  
録ヲ製調シ工兵局へ送附スヘシ

第四十二條 工事終閣建築署ヲ解散スルノ際ニ至  
テハ該事業ニ關係スル要用ノ書類圖面其他後日  
ノ參考ニ供スヘキ要領ノ模範ニ屬スヘキモノハ  
悉皆詳細ナル目錄ヲ製シ現品一同工兵局へ送附  
スヘシ

第四十三條 建築上殘餘ノ材料物品或ハ使用セシ  
諸機械器具等ノ如キハ陸軍卿へ經伺ノ上處分ス  
ルヲ法トス

臨時建築署官職表	
職員名	官名
長一人	大佐
次長一人	中佐
工役長若干人	少佐
計官 若干人	大尉
	中尉
	少尉
若干人	副軍吏(補)
	監上等
	監曹長
	軍曹伍長
	會計書記(一、二、三等)

陸 陸 省